



平成 30 年 1 月 25 日

各 位

会社名	株式会社ソフィアホールディングス
代表者名	代表取締役社長 新村 直樹
(コード番号)	6942)
問合せ先	経営企画室 浅野 茂雄
(TEL)	03-6265-3339)

(訂正)「平成 27 年 3 月期 第 2 四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」
の一部訂正について

当社は、平成 26 年 11 月 14 日に開示いたしました表記開示資料について訂正がありましたのでお知らせします。

記

1. 訂正の内容と理由

訂正内容と理由につきましては、別途本日(平成 30 年 1 月 25 日)付「過年度の有価証券報告書等の訂正報告書の提出及び過年度決算短信等の訂正に関するお知らせ」にて開示しておりますので、ご参照ください。

また、上記の訂正作業をする中で、セグメント情報等について誤りがあることが判明したため、合わせて訂正を行っております。

2. 訂正の箇所

訂正箇所は下線を付して表示しております。なお、訂正箇所が多数に及ぶため、訂正箇所を含む訂正後の全文を記載しております。

以上

(訂正後)



平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年11月14日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ソフィアホールディングス
コード番号 6942 URL <http://www.sophia.com/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 木下 真行
問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 諸星 幸則 TEL 03-6205-5330
四半期報告書提出予定日 平成26年11月14日
配当支払開始予定日 -
四半期決算補足説明資料作成の有無: 無
四半期決算説明会開催の有無: 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	1,815	14.5	<u>△108</u>	—	△98	—	<u>△111</u>	—
26年3月期第2四半期	1,585	68.1	△57	—	△40	—	△50	—

(注) 包括利益 27年3月期第2四半期 △113百万円 (-%) 26年3月期第2四半期 △26百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	<u>△5.37</u>	—
26年3月期第2四半期	△2.47	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年3月期第2四半期	<u>3,446</u>	<u>1,094</u>	<u>30.5</u>	<u>47.97</u>
26年3月期	<u>2,745</u>	<u>1,048</u>	<u>36.8</u>	<u>50.04</u>

(参考) 自己資本 27年3月期第2四半期 1,050百万円 26年3月期 1,011百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
27年3月期	—	0.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

当社グループを取り巻く事業環境は短期的に大きく変動する傾向にあり、業績の見通しにつきましては適正かつ合理的な数値の算出が困難であるため、四半期ごとに決算実績及び事業の概況をタイムリーに開示することにつとめ、業績予想の開示を控させていただきます。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有
新規 1社 （社名）株式会社アクア、除外 1社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	27年3月期2Q	22,377,200株	26年3月期	20,693,000株
② 期末自己株式数	27年3月期2Q	483,561株	26年3月期	483,461株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	27年3月期2Q	20,770,893株	26年3月期2Q	20,210,596株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	2
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	2
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	2
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	2
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動も和らぎつつあり、緩やかな回復基調が続いております。しかしながら、輸出や設備投資は力強さを欠き、また、海外景気の下振れなど不安要素も多く、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社グループが属する業界におきましても、企業のIT関連投資に対する慎重な姿勢は継続しており、持ち直しの動きが期待されるものの、受注環境は依然として厳しい状況が続いております。

このような事業環境のもと、当社グループにおいては、多様化する顧客のニーズに対応するためのサービス、企画及び開発等、業容拡大を目指し積極的な活動を行うとともに、収益構造の強化を目的として各事業部門の収益管理をより一層徹底し、グループ全体の業績向上に努めてまいりました。

また、当社グループの更なる事業の拡大を図るべく、東京大学の研究者を中心に平成25年6月に設立されたバイオベンチャー企業であり、個人向け遺伝子解析サービスを主軸に事業を展開する株式会社ジーンクエストを子会社化し、連結の範囲に含めております。これに伴い、新たなセグメントとして「遺伝子情報サービス事業」を新設いたしました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高が1,815百万円（前年同四半期は1,585百万円）となりました。損益面は、営業損失108百万円（前年同四半期は営業損失57百万円）、経常損失98百万円（前年同四半期は経常損失40百万円）、四半期純損失111百万円（前年同四半期は四半期純損失50百万円）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

[インターネット関連事業]

インターネット関連のシステム開発及び運営支援、業務コンサルティング、データセンターの運用保守等を行い、売上高は877百万円（前年同四半期は787百万円）となりました。

[ECサイト関連事業]

シューズ、ウェア等アパレル製品のインターネット通信販売等を行い、売上高は835百万円（前年同四半期は785百万円）となりました。

[遺伝子情報サービス事業]

遺伝子解析キットの販売及び遺伝子情報の解析等を行い、売上高は85百万円となりました。

[デジタルプロダクツ事業]

デジタル製品（ARecX6チューナーレコーダー）の販売等を行い、売上高は14百万円（前年同四半期は1百万円）となりました。

[海外事業]

東アジア圏におけるIT事業の情報収集等を行い、グループ各社に対して事業機会の情報提供、ビジネスの仲介業務等を行い、売上高は0百万円（前年同四半期は0百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は前連結会計年度末に比べ701百万円増加し、3,446百万円となりました。これは現金及び預金の増加297百万円、のれんの増加276百万円等によるものであります。

負債につきましては前連結会計年度末に比べ655百万円増加し、2,352百万円となりました。これはその他に含まれる前受金の増加334百万円、短期借入金の増加170百万円等によるものであります。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ45百万円増加し、1,094百万円となりました。これは株式交換による資本剰余金の増加152百万円等によるものであります。この結果、自己資本比率は30.5%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループを取り巻く事業環境は短期的に大きく変動する傾向にあり、業績の見通しにつきましては適正かつ合理的な数値の算出が困難であるため、四半期ごとに決算実績及び事業の概況をタイムリーに開示することにつとめ、業績予想の開示を控えさせていただいております。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

第1四半期連結会計期間において、株式会社アクアの全株式を取得したため、連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

当社グループは、前連結会計年度において営業損失(180百万円)及び当期純損失(136百万円)を計上し、平成24年3月期より3期連続で営業損失及び当期純損失となったことから、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況が存在しております。

当該状況を解消すべく、当社グループでは下記の対応策を実施することにより、継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められないと判断しております。

収益面につきましては、現在、経営の立て直しと業績の早期回復を行うために、収益が見込める事業への経営資源の集中、役員報酬や人件費低減並びに一般管理費等のコスト削減などを行っております。また、今後、収益改善が見込めない事業からの撤退をし、収益力があるインターネット関連事業、ECサイト関連事業への特化を行ってまいります。

インターネット関連事業については、ASP事業における顧客への展開、サービス・商品の開発を継続的に実施し、これまでのノウハウを集約したソリューションの販売を推進致します。また、顧客の業務効率化に資するソリューションの提供により、顧客との継続的な取引を実現し収益基盤とする方針です。

ECサイト関連事業につきましては、当社グループのノウハウや資金等の投入により、更なるコスト削減と運用の効率化により、会員数増加と収益力向上を実現する方針です。

資金面につきましては、当面の運転資金は確保できておりますが、役員報酬や人件費の低減、一般管理費の削減によるキャッシュフローの改善が見込まれ、また、保有している金融資産等の売却や新たな資金調達も視野に入れて検討しております。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,125,231	1,422,928
受取手形及び売掛金	<u>405,323</u>	<u>508,159</u>
商品及び製品	<u>177,904</u>	<u>231,051</u>
原材料及び貯蔵品	5,092	3,466
その他	87,677	146,234
貸倒引当金	<u>△1,656</u>	<u>△2,148</u>
流動資産合計	<u>1,799,573</u>	<u>2,309,692</u>
固定資産		
有形固定資産	54,948	121,222
無形固定資産		
のれん	289,216	566,039
その他	34,904	61,005
無形固定資産合計	<u>324,121</u>	<u>627,045</u>
投資その他の資産		
投資有価証券	466,529	319,939
敷金及び保証金	18,063	30,864
その他	101,824	166,004
貸倒引当金	<u>△19,380</u>	<u>△127,964</u>
投資その他の資産合計	<u>567,036</u>	<u>388,845</u>
固定資産合計	<u>946,106</u>	<u>1,137,113</u>
資産合計	<u>2,745,680</u>	<u>3,446,806</u>

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	210,717	301,699
短期借入金	600,000	770,000
1年内返済予定の長期借入金	158,738	186,083
未払法人税等	4,217	3,962
預り金	485,057	433,448
その他	131,593	505,554
流動負債合計	<u>1,590,323</u>	<u>2,200,748</u>
固定負債		
長期借入金	70,289	71,278
その他	36,505	80,600
固定負債合計	<u>106,794</u>	<u>151,878</u>
負債合計	<u>1,697,117</u>	<u>2,352,627</u>
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,108,000	2,108,000
資本剰余金	250,397	402,986
利益剰余金	<u>△1,281,269</u>	<u>△1,392,734</u>
自己株式	△61,221	△61,249
株主資本合計	<u>1,015,906</u>	<u>1,057,003</u>
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	590	△343
為替換算調整勘定	△5,247	△6,372
その他の包括利益累計額合計	<u>△4,656</u>	<u>△6,715</u>
新株予約権	37,312	34,132
少数株主持分	—	9,760
純資産合計	<u>1,048,562</u>	<u>1,094,179</u>
負債純資産合計	<u>2,745,680</u>	<u>3,446,806</u>

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	1,585,856	1,815,911
売上原価	986,948	<u>1,145,084</u>
売上総利益	598,908	<u>670,826</u>
返品調整引当金戻入額	1,253	1,790
返品調整引当金繰入額	1,838	1,950
差引売上総利益	598,323	<u>670,667</u>
販売費及び一般管理費	655,359	<u>779,072</u>
営業損失(△)	<u>△57,035</u>	<u>△108,405</u>
営業外収益		
受取利息	10,834	959
受取配当金	321	78
匿名組合投資利益	21,674	19,303
その他	6,528	2,813
営業外収益合計	39,358	23,155
営業外費用		
支払利息	8,740	10,098
持分法による投資損失	12,782	—
その他	1,743	2,768
営業外費用合計	23,266	12,867
経常損失(△)	<u>△40,943</u>	<u>△98,118</u>
特別利益		
投資有価証券売却益	10,077	—
新株予約権戻入益	3,180	3,180
特別利益合計	13,257	3,180
特別損失		
固定資産除却損	—	706
関係会社株式売却損	15,520	—
持分変動損失	—	6,090
和解金	4,200	—
特別損失合計	19,720	6,797
税金等調整前四半期純損失(△)	<u>△47,406</u>	<u>△101,735</u>
法人税、住民税及び事業税	2,178	1,395
法人税等調整額	566	8,334
法人税等合計	2,745	9,729
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	<u>△50,151</u>	<u>△111,464</u>
少数株主損失(△)	△147	—
四半期純損失(△)	<u>△50,003</u>	<u>△111,464</u>

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△50,151	<u>△111,464</u>
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	24,757	△933
為替換算調整勘定	△992	△1,125
その他の包括利益合計	23,764	△2,059
四半期包括利益	<u>△26,387</u>	<u>△113,524</u>
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△26,239	<u>△113,524</u>
少数株主に係る四半期包括利益	△147	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△47,406	<u>△101,735</u>
減価償却費	16,558	16,782
のれん償却額	20,514	29,318
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△3,366	1,203
受取利息及び受取配当金	△11,155	△1,037
支払利息	8,740	10,098
投資有価証券売却損益(△は益)	△10,077	—
関係会社株式売却損益(△は益)	15,520	—
新株予約権戻入益	△3,180	△3,180
持分変動損益(△は益)	—	6,090
為替差損益(△は益)	△2,185	△1,163
持分法による投資損益(△は益)	12,782	—
有形固定資産除却損	—	706
匿名組合投資損益(△は益)	△21,674	△19,303
和解金	4,200	—
売上債権の増減額(△は増加)	△13,200	△87,012
たな卸資産の増減額(△は増加)	△93,980	<u>△39,746</u>
未収消費税等の増減額(△は増加)	5,346	10,936
その他の資産の増減額(△は増加)	△5,678	39,608
仕入債務の増減額(△は減少)	110,797	71,093
未払金の増減額(△は減少)	△21,917	△6,756
預り金の増減額(△は減少)	165,469	△53,940
未払消費税等の増減額(△は減少)	△3,942	9,447
前受金の増減額(△は減少)	△554	135,944
その他の負債の増減額(△は減少)	4,393	12,499
小計	126,002	29,853
利息及び配当金の受取額	1,775	2,277
利息の支払額	△8,974	△10,097
法人税等の支払額	△11,886	△2,942
法人税等の還付額	3,749	13,734
営業活動によるキャッシュ・フロー	110,665	32,825

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の売却による収入	144,623	—
関係会社株式の売却による収入	83,064	10,000
有形固定資産の取得による支出	△678	△5,636
無形固定資産の取得による支出	△13,636	△15,047
貸付けによる支出	△154,842	△65,000
貸付金の回収による収入	2,128	77,602
匿名組合出資金の払込による支出	△420,400	△240,000
匿名組合出資金の払戻による収入	424,281	394,442
子会社株式の取得による支出	—	△3,300
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による 支出	—	△5,268
敷金の差入による支出	—	△2,100
敷金の回収による収入	3,180	674
投資活動によるキャッシュ・フロー	67,721	146,368
財務活動によるキャッシュ・フロー		
リース債務の返済による支出	△10,739	△9,058
長期借入金の返済による支出	△25,551	△26,864
自己株式の取得による支出	△16	△28
少数株主からの払込みによる収入	—	10,000
設備関係割賦債務の返済による支出	—	△3,735
財務活動によるキャッシュ・フロー	△36,307	△29,686
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,233	66
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	143,312	149,573
現金及び現金同等物の期首残高	710,618	955,231
株式交換に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	148,124
現金及び現金同等物の四半期末残高	853,931	1,252,928

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成26年8月1日付の株式交換により新株を発行し、株式会社ジーンクエストを連結子会社としました。この結果、当第2四半期連結累計期間において資本剰余金が152,589千円増加し、当第2四半期連結会計期間末において資本剰余金が402,986千円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	インターネット 関連事業	ECサイト 関連事業	デジタル プロダクツ事業	海外事業	計
売上高					
外部顧客への売上高	776,329	784,531	1,917	—	1,562,777
セグメント間の内部 売上高又は振替高	11,606	717	—	611	12,935
計	787,935	785,248	1,917	611	1,575,713
セグメント利益 又は損失(△)	9,511	20,945	△1,382	△500	28,553

(注) 当社グループは平成25年3月をもってモバイル事業から撤退しており、同事業を営んでおりました連結子会社株式会社ソフィアモバイルは、平成25年3月29日付をもって解散及び特別清算を決議し、平成25年9月30日現在特別清算手続中でありましたが、平成25年10月31日をもって特別清算終了いたしました。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	28,553
セグメント間取引消去	4,148
のれんの償却額	△20,514
全社損益(注)	△68,231
その他の調整額	△991
四半期連結損益計算書の営業損失	△57,035

(注) 全社損益は、主に提出会社に係る損益であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	インターネット 関連事業	ECサイト 関連事業	遺伝子情報 サービス事業	デジタル プロダクツ事業	海外事業	計
売上高						
外部顧客への売上高	874,723	835,114	85,463	14,352	7	1,809,661
セグメント間の内部 売上高又は振替高	<u>2,515</u>	—	—	98	159	<u>2,773</u>
計	<u>877,239</u>	835,114	85,463	14,450	167	<u>1,812,435</u>
セグメント利益 又は損失(△)	<u>44,934</u>	△75,218	22,752	<u>△3,676</u>	△376	<u>△11,584</u>

(注) 1. 「ECサイト関連事業」を構成する企業のうち、トレンドライン株式会社は平成26年4月25日をもって特別清算終了いたしました。

2. 第1四半期連結会計期間において、株式会社アクアを連結子会社化いたしました。これに伴い、「インターネット関連事業」の報告セグメントに含めております。

3. 当第2四半期連結会計期間において、株式会社ジーンクエストを連結子会社化いたしました。これに伴い、新たなセグメント「遺伝子情報サービス事業」を新設いたしました。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	<u>△11,584</u>
セグメント間取引消去	<u>3</u>
全社損益(注)	<u>△96,825</u>
四半期連結損益計算書の営業損失	<u>△108,405</u>

(注) 全社損益は、提出会社に係る損益であります。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第2四半期連結会計期間において、株式会社ジーンクエストを連結子会社化したことに伴い、新たなセグメント「遺伝子情報サービス事業」を設けております。

4. 報告セグメントごとの資産に関する情報

「遺伝子情報関連サービス事業」が新たなセグメントとして加わったことにより、同事業の資産合計は519,669千円増加しております。

5. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

「遺伝子情報サービス事業」セグメントにおいて、株式会社ジーンクエストを連結子会社化したことにより、のれん金額に重要な変動が生じております。

なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第2四半期連結累計期間においては63,304千円であります。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(訂正前)



平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年11月14日
上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ソフィアホールディングス
 コード番号 6942 URL <http://www.sophia.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 木下 真行
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 諸星 幸則 TEL 03-6205-5330
 四半期報告書提出予定日 平成26年11月14日
 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無: 無
 四半期決算説明会開催の有無: 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績(平成26年4月1日~平成26年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	1,815	14.5	<u>△109</u>	-	△98	-	<u>△112</u>	-
26年3月期第2四半期	1,585	68.1	△57	-	△40	-	△50	-

(注) 包括利益 27年3月期第2四半期 △114百万円 (-%) 26年3月期第2四半期 △26百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	<u>△5.40</u>	-
26年3月期第2四半期	△2.47	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年3月期第2四半期	<u>3,525</u>	<u>1,172</u>	<u>32.0</u>	<u>51.57</u>
26年3月期	<u>2,825</u>	<u>1,128</u>	<u>38.6</u>	<u>53.97</u>

(参考) 自己資本 27年3月期第2四半期 1,129百万円 26年3月期 1,090百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	-	0.00	-	0.00	0.00
27年3月期	-	0.00	-	-	-
27年3月期(予想)	-	-	-	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日~平成27年3月31日)

当社グループを取り巻く事業環境は短期的に大きく変動する傾向にあり、業績の見通しにつきましては適正かつ合理的な数値の算出が困難であるため、四半期ごとに決算実績及び事業の概況をタイムリーに開示することにつとめ、業績予想の開示を控させていただきます。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有
新規 1社 （社名）株式会社アクア、除外 1社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	27年3月期2Q	22,377,200株	26年3月期	20,693,000株
② 期末自己株式数	27年3月期2Q	483,561株	26年3月期	483,461株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	27年3月期2Q	20,770,893株	26年3月期2Q	20,210,596株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	2
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	2
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	2
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	2
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動も和らぎつつあり、緩やかな回復基調が続いております。しかしながら、輸出や設備投資は力強さを欠き、また、海外景気の下振れなど不安要素も多く、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社グループが属する業界におきましても、企業のIT関連投資に対する慎重な姿勢は継続しており、持ち直しの動きが期待されるものの、受注環境は依然として厳しい状況が続いております。

このような事業環境のもと、当社グループにおいては、多様化する顧客のニーズに対応するためのサービス、企画及び開発等、業容拡大を目指し積極的な活動を行うとともに、収益構造の強化を目的として各事業部門の収益管理をより一層徹底し、グループ全体の業績向上に努めてまいりました。

また、当社グループの更なる事業の拡大を図るべく、東京大学の研究者を中心に平成25年6月に設立されたバイオベンチャー企業であり、個人向け遺伝子解析サービスを主軸に事業を展開する株式会社ジーンクエストを子会社化し、連結の範囲に含めております。これに伴い、新たなセグメントとして「遺伝子情報サービス事業」を新設いたしました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高が1,815百万円（前年同四半期は1,585百万円）となりました。損益面は、営業損失109百万円（前年同四半期は営業損失57百万円）、経常損失98百万円（前年同四半期は経常損失40百万円）、四半期純損失112百万円（前年同四半期は四半期純損失50百万円）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

[インターネット関連事業]

インターネット関連のシステム開発及び運営支援、業務コンサルティング、データセンターの運用保守等を行い、売上高は880百万円（前年同四半期は787百万円）となりました。

[ECサイト関連事業]

シューズ、ウェア等アパレル製品のインターネット通信販売等を行い、売上高は835百万円（前年同四半期は785百万円）となりました。

[遺伝子情報サービス事業]

遺伝子解析キットの販売及び遺伝子情報の解析等を行い、売上高は85百万円となりました。

[デジタルプロダクツ事業]

デジタル製品（ARecX6チューナーレコーダー）の販売等を行い、売上高は14百万円（前年同四半期は1百万円）となりました。

[海外事業]

東アジア圏におけるIT事業の情報収集等を行い、グループ各社に対して事業機会の情報提供、ビジネスの仲介業務等を行い、売上高は0百万円（前年同四半期は0百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は前連結会計年度末に比べ700百万円増加し、3,525百万円となりました。これは現金及び預金の増加297百万円、のれんの増加276百万円等によるものであります。

負債につきましては前連結会計年度末に比べ655百万円増加し、2,352百万円となりました。これはその他に含まれる前受金の増加334百万円、短期借入金の増加170百万円等によるものであります。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ44百万円増加し、1,172百万円となりました。これは株式交換による資本剰余金の増加152百万円等によるものであります。この結果、自己資本比率は32.0%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループを取り巻く事業環境は短期的に大きく変動する傾向にあり、業績の見通しにつきましては適正かつ合理的な数値の算出が困難であるため、四半期ごとに決算実績及び事業の概況をタイムリーに開示することによって、業績予想の開示を控えさせていただいております。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

第1四半期連結会計期間において、株式会社アクアの全株式を取得したため、連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

当社グループは、前連結会計年度において営業損失(101百万円)及び当期純損失(56百万円)を計上し、平成24年3月期より3期連続で営業損失及び当期純損失となったことから、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況が存在しております。

当該状況を解消すべく、当社グループでは下記の対応策を実施することにより、継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められないと判断しております。

収益面につきましては、現在、経営の立て直しと業績の早期回復を行うために、収益が見込める事業への経営資源の集中、役員報酬や人件費低減並びに一般管理費等のコスト削減などを行っております。また、今後、収益改善が見込めない事業からの撤退をし、収益力があるインターネット関連事業、ECサイト関連事業への特化を行ってまいります。

インターネット関連事業については、ASP事業における顧客への展開、サービス・商品の開発を継続的に実施し、これまでのノウハウを集約したソリューションの販売を推進致します。また、顧客の業務効率化に資するソリューションの提供により、顧客との継続的な取引を実現し収益基盤とする方針です。

ECサイト関連事業につきましては、当社グループのノウハウや資金等の投入により、更なるコスト削減と運用の効率化により、会員数増加と収益力向上を実現する方針です。

資金面につきましては、当面の運転資金は確保できておりますが、役員報酬や人件費の低減、一般管理費の削減によるキャッシュフローの改善が見込まれ、また、保有している金融資産等の売却や新たな資金調達も視野に入れて検討しております。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,125,231	1,422,928
受取手形及び売掛金	<u>405,823</u>	<u>508,659</u>
商品及び製品	<u>256,863</u>	<u>309,353</u>
原材料及び貯蔵品	5,092	3,466
その他	87,677	146,234
貸倒引当金	<u>△1,656</u>	<u>△2,148</u>
流動資産合計	<u>1,879,032</u>	<u>2,388,493</u>
固定資産		
有形固定資産	54,948	121,222
無形固定資産		
のれん	289,216	566,039
その他	34,904	61,005
無形固定資産合計	<u>324,121</u>	<u>627,045</u>
投資その他の資産		
投資有価証券	466,529	319,939
敷金及び保証金	18,063	30,864
その他	101,824	166,004
貸倒引当金	<u>△19,380</u>	<u>△127,964</u>
投資その他の資産合計	<u>567,036</u>	<u>388,845</u>
固定資産合計	<u>946,106</u>	<u>1,137,113</u>
資産合計	<u>2,825,138</u>	<u>3,525,607</u>

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	210,717	301,699
短期借入金	600,000	770,000
1年内返済予定の長期借入金	158,738	186,083
未払法人税等	4,217	3,962
預り金	485,057	433,448
その他	131,593	505,554
流動負債合計	<u>1,590,323</u>	<u>2,200,748</u>
固定負債		
長期借入金	70,289	71,278
その他	36,505	80,600
固定負債合計	<u>106,794</u>	<u>151,878</u>
負債合計	<u>1,697,117</u>	<u>2,352,627</u>
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,108,000	2,108,000
資本剰余金	250,397	402,986
利益剰余金	<u>△1,201,811</u>	<u>△1,313,933</u>
自己株式	△61,221	△61,249
株主資本合計	<u>1,095,365</u>	<u>1,135,804</u>
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	590	△343
為替換算調整勘定	△5,247	△6,372
その他の包括利益累計額合計	<u>△4,656</u>	<u>△6,715</u>
新株予約権	37,312	34,132
少数株主持分	—	9,760
純資産合計	<u>1,128,020</u>	<u>1,172,980</u>
負債純資産合計	<u>2,825,138</u>	<u>3,525,607</u>

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	1,585,856	1,815,911
売上原価	986,948	<u>1,145,574</u>
売上総利益	598,908	<u>670,336</u>
返品調整引当金戻入額	1,253	1,790
返品調整引当金繰入額	1,838	1,950
差引売上総利益	598,323	<u>670,176</u>
販売費及び一般管理費	655,359	<u>779,239</u>
営業損失(△)	<u>△57,035</u>	<u>△109,062</u>
営業外収益		
受取利息	10,834	959
受取配当金	321	78
匿名組合投資利益	21,674	19,303
その他	6,528	2,813
営業外収益合計	39,358	23,155
営業外費用		
支払利息	8,740	10,098
持分法による投資損失	12,782	—
その他	1,743	2,768
営業外費用合計	23,266	12,867
経常損失(△)	<u>△40,943</u>	<u>△98,774</u>
特別利益		
投資有価証券売却益	10,077	—
新株予約権戻入益	3,180	3,180
特別利益合計	13,257	3,180
特別損失		
固定資産除却損	—	706
関係会社株式売却損	15,520	—
持分変動損失	—	6,090
和解金	4,200	—
特別損失合計	19,720	6,797
税金等調整前四半期純損失(△)	<u>△47,406</u>	<u>△102,392</u>
法人税、住民税及び事業税	2,178	1,395
法人税等調整額	566	8,334
法人税等合計	2,745	9,729
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	<u>△50,151</u>	<u>△112,121</u>
少数株主損失(△)	△147	—
四半期純損失(△)	<u>△50,003</u>	<u>△112,121</u>

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△50,151	<u>△112,121</u>
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	24,757	△933
為替換算調整勘定	△992	△1,125
その他の包括利益合計	23,764	△2,059
四半期包括利益	<u>△26,387</u>	<u>△114,181</u>
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△26,239	<u>△114,181</u>
少数株主に係る四半期包括利益	△147	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△47,406	<u>△102,392</u>
減価償却費	16,558	16,782
のれん償却額	20,514	29,318
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△3,366	1,203
受取利息及び受取配当金	△11,155	△1,037
支払利息	8,740	10,098
投資有価証券売却損益(△は益)	△10,077	—
関係会社株式売却損益(△は益)	15,520	—
新株予約権戻入益	△3,180	△3,180
持分変動損益(△は益)	—	6,090
為替差損益(△は益)	△2,185	△1,163
持分法による投資損益(△は益)	12,782	—
有形固定資産除却損	—	706
匿名組合投資損益(△は益)	△21,674	△19,303
和解金	4,200	—
売上債権の増減額(△は増加)	△13,200	△87,012
たな卸資産の増減額(△は増加)	△93,980	<u>△39,089</u>
未収消費税等の増減額(△は増加)	5,346	10,936
その他の資産の増減額(△は増加)	△5,678	39,608
仕入債務の増減額(△は減少)	110,797	71,093
未払金の増減額(△は減少)	△21,917	△6,756
預り金の増減額(△は減少)	165,469	△53,940
未払消費税等の増減額(△は減少)	△3,942	9,447
前受金の増減額(△は減少)	△554	135,944
その他の負債の増減額(△は減少)	4,393	12,499
小計	126,002	29,853
利息及び配当金の受取額	1,775	2,277
利息の支払額	△8,974	△10,097
法人税等の支払額	△11,886	△2,942
法人税等の還付額	3,749	13,734
営業活動によるキャッシュ・フロー	110,665	32,825

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の売却による収入	144,623	—
関係会社株式の売却による収入	83,064	10,000
有形固定資産の取得による支出	△678	△5,636
無形固定資産の取得による支出	△13,636	△15,047
貸付けによる支出	△154,842	△65,000
貸付金の回収による収入	2,128	77,602
匿名組合出資金の払込による支出	△420,400	△240,000
匿名組合出資金の払戻による収入	424,281	394,442
子会社株式の取得による支出	—	△3,300
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による 支出	—	△5,268
敷金の差入による支出	—	△2,100
敷金の回収による収入	3,180	674
投資活動によるキャッシュ・フロー	67,721	146,368
財務活動によるキャッシュ・フロー		
リース債務の返済による支出	△10,739	△9,058
長期借入金の返済による支出	△25,551	△26,864
自己株式の取得による支出	△16	△28
少数株主からの払込みによる収入	—	10,000
設備関係割賦債務の返済による支出	—	△3,735
財務活動によるキャッシュ・フロー	△36,307	△29,686
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,233	66
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	143,312	149,573
現金及び現金同等物の期首残高	710,618	955,231
株式交換に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	148,124
現金及び現金同等物の四半期末残高	853,931	1,252,928

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成26年8月1日付の株式交換により新株を発行し、株式会社ジーンクエストを連結子会社としました。この結果、当第2四半期連結累計期間において資本剰余金が152,589千円増加し、当第2四半期連結会計期間末において資本剰余金が402,986千円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	インターネット 関連事業	ECサイト 関連事業	デジタル プロダクツ事業	海外事業	計
売上高					
外部顧客への売上高	776,329	784,531	1,917	—	1,562,777
セグメント間の内部 売上高又は振替高	11,606	717	—	611	12,935
計	787,935	785,248	1,917	611	1,575,713
セグメント利益 又は損失(△)	9,511	20,945	△1,382	△500	28,553

(注) 当社グループは平成25年3月をもってモバイル事業から撤退しており、同事業を営んでおりました連結子会社株式会社ソフィアモバイルは、平成25年3月29日付をもって解散及び特別清算を決議し、平成25年9月30日現在特別清算手続中でありましたが、平成25年10月31日をもって特別清算終了いたしました。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	28,553
セグメント間取引消去	4,148
のれんの償却額	△20,514
全社損益(注)	△68,231
その他の調整額	△991
四半期連結損益計算書の営業損失	△57,035

(注) 全社損益は、主に提出会社に係る損益であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	インターネット 関連事業	ECサイト 関連事業	遺伝子情報 サービス事業	デジタル プロダクツ事業	海外事業	計
売上高						
外部顧客への売上高	874,723	835,114	85,463	14,352	7	1,809,661
セグメント間の内部 売上高又は振替高	<u>6,085</u>	—	—	98	159	<u>6,343</u>
計	<u>880,808</u>	835,114	85,463	14,450	167	<u>1,816,004</u>
セグメント利益 又は損失(△)	<u>44,809</u>	△75,218	22,752	<u>△4,333</u>	△376	<u>△12,366</u>

(注) 1. 「ECサイト関連事業」を構成する企業のうち、トレンドライン株式会社は平成26年4月25日をもって特別清算終了いたしました。

2. 第1四半期連結会計期間において、株式会社アクアを連結子会社化いたしました。これに伴い、「インターネット関連事業」の報告セグメントに含めております。

3. 当第2四半期連結会計期間において、株式会社ジーンクエストを連結子会社化いたしました。これに伴い、新たなセグメント「遺伝子情報サービス事業」を新設いたしました。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	<u>△12,366</u>
セグメント間取引消去	<u>398</u>
のれんの償却額	<u>△20,988</u>
全社損益(注)	<u>△73,534</u>
その他の調整額	<u>△2,572</u>
四半期連結損益計算書の営業損失	<u>△109,062</u>

(注) 全社損益は、提出会社に係る損益であります。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第2四半期連結会計期間において、株式会社ジーンクエストを連結子会社化したことに伴い、新たなセグメント「遺伝子情報サービス事業」を設けております。

4. 報告セグメントごとの資産に関する情報

「遺伝子情報関連サービス事業」が新たなセグメントとして加わったことにより、同事業の資産合計は519,669千円増加しております。

5. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

「遺伝子情報サービス事業」セグメントにおいて、株式会社ジーンクエストを連結子会社化したことにより、のれん金額に重要な変動が生じております。

なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第2四半期連結累計期間においては63,304千円であります。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。